



# 情報共有

## 生徒の安全確保する義務 教育委員会にある

担任が校長に報告をしていなかったと報道されている「女子中学生からの告発文と思われる文書」について、校長等が『知らなかった』と報道され、この部分のみの『情報共有』が強調されている様です。 市民からの問い合わせは・・・

当該中学校の校長先生の「(校長が) 情報共有できていれば、死亡事件は回避できた」旨の発言には、市民からの厳しい意見があります。生徒指導のあらゆる資料情報があるはずで、「文書」問題以前に校長が「情報共有できていなかった」と断定する事が、現時点で不明です。「死亡した生徒は、1～2年生時代に他の生徒からの嫌がらせ被害を学校に訴えていた」の報道(中日7日)もあり、これがもし事実なら「注意を持って見守る生徒」として校長も認識できていたのでは? との指摘があります。

### 共有の努力

「共有」の努力(機構、定期点検、職場の雰囲気創りなど)を行なうのは、担任である前に校長。一人責任を担任に科すように聞こえる発言は、管理職としては聞きづらい。「情報共有」の以前の問題のようです。

### 今、報告しようとして・・・「私たちの敵は沈黙」

以前、沖ノ橋町1丁目の駐車場で1人の中学生が複数の中学生に土下座させられていました。目撃された市民からの情報を、松原のりかずが教育委員会学校指導課に質問した時、指導課は「情報を把握していません」でした。指導課から当該学校へ問い合わせると「今、報告しようと思っていたところです」となりました。現在、「情報」が「校内で留まらない」と保証できるでしょうか?

「いじめと闘う」G7宣言(中日新聞5日)は、G7の教育相がフランスで宣言を出したと報道。「世界中で最大三割の生徒がいじめを経験したことがあると推定されると指摘。学校が安全で、全生徒にとり居心地の良い場所であるよう取り組む」と訴えた。

マクロン・フランス大統領夫人(元高校教師)は、「私たちの敵は沈黙だ」と述べ、問題を表面化させて対処する必要性を訴えた。と、報道されています。

## 小澤里美 健康部長 聡明な人物

7月10日、小澤里美健康部長「お別れの会」が斎苑で開かれました。柴橋市長、大野議長の参列をはじめ400人ほどおみえだったろうか、多くの参列者が故人のお人柄を示していたように思いました。ご病気は、松原のりかすの妻と同じであり、妻の闘病生活で使用した薬の本をお貸し、闘病時の経験をお話しすることもありました。60歳、年齢も松原のりかすの妻62歳と近い年齢、まだまだ御家族とすごしたい時間があったらと思います。

伊藤哲さんの本庁舎8階からの転落時に、職員厚生課長であった小澤さんは、手を血で濡らし必死で心臓マッサージ・救命処置をされていたことをお聴きしています。緊急時に冷静な判断の出来る人でした。

議会活動で多くの助言を頂きました。本当に御世話になりました。ご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

## 文教委員会は・・・

10日の水道事業経営審議会で、須田文教委員長とお会いしました。「連日のように中学3年生転落死の問題が報道されていますが、文教委員会の開会の情報がありませんが？」とお聴きしました。

教育委員会からの発信では外部委員会、第三者委員会の組織化の情報が議員へFAXされて来ますが、一方的で委員会への説明が無いようです。委員会の動きが見えません。市民からは、「市長が、『教育再生会議』で教育方針そのものに今日までの総括を加えようとしている時に、この重大問題で特別委員会を組織しないのか？」との問い合わせもあります。本会議休会中の審査についても議会ごとに確認が取られていますが、文教委員会の動きが見られない。

連日のマスコミ対応が大変でしょうが、教育委員会からも市議会文教委員会への中間報告の場の設定調整も、今日まで無いと思われます。



松原のりかす  
☎058-253-2500